

様式例第 1

生産開始の日の欄には、届出に係る生産施設の稼働開始の日を記載して下さい。なお、変更届出の場合には、当該工場の操業開始の日を（ ）書きで併記して下さい。

事業概要説明書

1	生産開始の日 (35. 1. 20) 令和〇〇年〇〇月〇〇日						
2	主要製品別生産能力及び生産数量						
	製品名		生産能力		生産数量		
	熱分析装置		15,000 台/月		10,000 台/月		
	ガス分析機器		10,000 台/月		6,000 台/月 7,000 台/月		
3	水源別工業用水使用料 計 600 (単位: トン/日)						
	上水道	工業用水道	河川表流水	井戸水	その他	回収水	海水
	200 300			300			
4	電力の使用量 計 20,000 (単位: KWH/日)						
	買電による電力使用量			自家発電による電力使用量			
	20,000						
5	従業員数 計 300 (単位: 人)						
	職員		男 30 女 30	工員	男 120 女 120	計	男 150 女 150

- 備考 1 生産能力及び生産数量は、各々の業種に応じ通常用いる単位で記載して下さい。(例 トン/日、m³/月等) 輸送量は、トン換算した値で1ヶ月当たり平均輸送量を記載して下さい。
- 2 事業概要説明書の用紙の大きさは、日本工業規格A4を用いて下さい。

従業員数は、別会社の従業員、パート等でも工場内で日常的に働いている人は含めて下さい。